



ひっそりと、でも、脈々と

副校長 國司 香織

年末にかけて暖かい日も多く、過ごしやすい日々が続いていましたが、新しい年を迎え、すっかり寒さが身に染みる季節となりました。先日の朝には、職員玄関にある池が凍り、正門前の花壇に霜柱ができていたり子どもたちも日常生活の中で冬を実感する機会が増えています。寒くなると、外で遊びたがらない子ども達も増えますが、そうはいつでも、「子どもはかぜの子」で、昇降口が開くのを今か今かと待ち、開いたとたんに校庭へ駆け出していく子どもがたくさんいます。どんなに寒くても思い切り身体を動かして、友達とわいわい楽しむ時間はとても貴重で、一緒に走り回っている先生方もいて、終わるころには汗をかいている姿も見かけます。

プール裏の「紅梅」



寒さに身を縮めている毎日ですが、植物

たちは着実に時を刻み、春への準備を始めています。敷地内にある「梅」は、見事に花を咲かせており、目にするたびに心癒されています。体育館横の「白梅」、プール裏にある田んぼ横の「紅梅」です。紅梅は濃いピンクの花びらで、とても美しく咲いているのですが、咲いている場所がプールの裏のため、なかなか皆さんに見てもらえる機会がなく、残念です。しかし、誰に見てもらえることなくとも、ひっそりと、でもしっかりと花を咲かせている梅の木の内実とたくましさを感じます。学校にお越しの際はぜひ足を向けていただき、美しさを味わっていただけたらと思います。



体育館横の「白梅」

学校では、そんな梅のようなあまり目にする機会がないもの、目立たないものに気づき、いいものは良いと称賛する目や心を大切に育てていきたいと考えています。教室の中でも、皆のために毎日コツコツと黒板をきれいにしていたり、掃除にしっかり取り組んでいたりと、教師の話に集中して聞いていたり、普通にできすぎていて、そのままにされがちなことや人にもふと足をとめ、その素晴らしさを言葉にして伝えていきたいです。千秀小学校では、1年生のうちから、専科の先生の授業があります。担任以外の先生が多くかわり、チームで見守るという体制をとっています。先頭に立って引っ張っていくリーダーの存在も大切につつ、目立たないけれど、しっかり支えている人たちの存在も大切にしていけるよう、要素の一つになっていると思います。多くの目で、様々な子ども達の育ちを見逃すことなく、見守っていけるよう、今後も取り組んでいきます。

学校だけでなく、家庭や地域の中でも、ひっそりと、でもしっかりとあいさつ等に取り組んでいる子ども達がいるかと思っています。ぜひ声をかけていただければ、続けていく励みになります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。